

令和6年度 音楽科 年間指導計画 第1学年 標準時数：45 江戸川区立二之江中学校

領域	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
歌唱 (24時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌、区歌、混声2部合唱</li> </ul> 歌唱における基礎的な姿勢、発声方法、正しい日本語の発音などを学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏の思い出</li> </ul> 言葉の抑揚と旋律の関りを生かし、歌詞の内容や曲想を感じ取って歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>赤とんぼ</li> </ul> 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、拍子や旋律のまとまりを生かして歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>混声3部合唱</li> </ul> それぞれの声部の役割を感じ取り、音色や強弱を工夫しながら合わせて歌う。	①表現したい思いや意図をもち、歌詞や曲想が表す情景や心情に相応しい音楽表現をするために必要な発声、日本語の発音、音程感覚などの技能を身につけて歌っている。 ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ③創意工夫を生かした表現で歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	①旋律の音の繋がり方や、強弱、速度を知覚し、日本語のもつ響きや抑揚と音楽の関りを感じ取っている。 ②強弱や速度、曲想を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ③それぞれの声部の役割を感じ取り、音色や強弱を工夫しながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞が表す情景や、心情を感じ取る活動に、主体的に取り組もうとしている。 ②歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、それらを生かし表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ③それぞれの声部の役割を感じ取り、音色や強弱を工夫して表現する活動に主体的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>ワークシート内容及び提出</li> <li>実技テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>
器楽 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディパーカッション、リズム打ち</li> </ul> 基本的なリズム譜の読譜を学習し、身体や打楽器で表現する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ギター基礎</li> </ul> ギターの基礎的な奏法及び、簡単なコードの押さえ方、響かせ方を学習する。	①楽器の特徴に合わせた音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、演奏している。 ②曲想に応じて、強弱や速度、音色などに気を付けながら、滑らかに演奏できている。	①音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じ取りながら、楽器の奏法を自分なりに工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図をもっている。	①パーカッションの基礎的・基本的な奏法を習得する活動に、主体的に取り組もうとしている。 ②クラシックギターの基礎的・基本的な奏法を習得する活動に、主体的に取り組もうとしている。	
創作 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム創作</li> </ul> 身近な言葉のリズムを感じ取り、それを生かして簡単なリズム曲を作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>旋律創作</li> </ul> 5音音階を用いて簡単な旋律を作る。	①言葉のアクセントや響き、リズム、旋律の特徴などを感じ取りながら、その特徴に合わせた音の組み合わせ方や、記譜の仕方などの技能を身につけて創作している。	①知覚、感受しながら言葉のアクセントやリズム、響き、旋律の特徴などを生かした音楽表現を工夫し、どのようにリズムや旋律を作るかについて思いや意図をもっている。	①言葉のアクセントや響きを感じ取りながら、それらを生かしてリズムを創作する活動に主体的に取り組もうとしている。 ②ハ長調、イ短調の旋律や構成に興味、関心をもち、それらを生かして音楽表現をする活動に主体的に取り組もうとしている。	
鑑賞 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヴィヴァルディ「四季」より「春」</li> </ul> 作曲者とその時代について学習する。 ソネットと音楽の関り、形式について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シューベルト「魔王」</li> </ul> 声の音域、ピアノ伴奏の変化などを感じ取る。 物語の進行と曲想の変化を感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「六段の調」</li> </ul> 我が国の伝統的な楽器及び音楽について理解を深める <ul style="list-style-type: none"> <li>「アジアと日本の歌唱表現」</li> </ul> 世界の様々な地域の歌唱の特徴について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の民謡」</li> </ul> 我が国の様々な民謡について学習する。	①曲想と音楽の構造や時代背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。	①情景や雰囲気を感じ出す楽器の音色、旋律、リズム、強弱の要素を感じ取り、それらの特徴を自分の言葉で表している。 ②曲想に合わせた歌い方や、使われている楽器の特徴を感じ取って聴いている。 ③音楽の特徴を作曲者の生きた時代背景や、曲に込められた思いと関連付けて理解し、自分なりの価値を考えながら聴いている。	①音楽を形作っている要素と結びつけながら、意欲的に聴こうとしている。 ②楽曲の背景となる歴史や管弦楽の楽器の音色などに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ③我が国の伝統的な音楽について知覚し、その特徴を自分の言葉で書けている。	

